



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月10日

上場会社名 株式会社北洋銀行 上場取引所 東 札
 コード番号 8524 URL <https://www.hokuyobank.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 安田 光春
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 津山 博恒 (TEL) 011-261-1311
 四半期報告書提出予定日 2020年2月12日 配当支払開始予定日 —
 特定取引勘定設置の有無 無
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満、小数点第1位未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	101,732	△2.6	11,074	△23.2	7,115	△32.0
2019年3月期第3四半期	104,471	△3.6	14,423	△4.7	10,469	△23.7

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 21,606百万円 (—%) 2019年3月期第3四半期 △6,647百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	18.23	18.22
2019年3月期第3四半期	26.53	26.51

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	10,054,239	437,053	4.3
2019年3月期	9,759,776	421,061	4.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 432,934百万円 2019年3月期 415,297百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2020年3月期	—	5.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	132,100	△4.5	15,500	△21.7	10,300	△27.1	円 銭 26.41

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年3月期3Q	399,060,179株	2019年3月期	399,060,179株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	9,874,462株	2019年3月期	3,166,789株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年3月期3Q	390,212,827株	2019年3月期3Q	394,628,795株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・ 四半期決算補足説明資料は、四半期決算短信に添付しております。
- ・ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

※2020年3月期第3四半期決算説明資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、経常収益は、貸出金利息及び有価証券利息配当金の減少による資金運用収益の減少を主因に前第3四半期連結累計期間比27億円減少し、1,017億円となりました。一方、経常費用は、営業経費の減少や国債等債券売却損の減少によりその他業務費用が減少したものの、一部保有株式の減損を主因に前第3四半期連結累計期間比6億円増加し、906億円となりました。

これらの結果、経常利益は前第3四半期連結累計期間比33億円減少し、110億円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は前第3四半期連結累計期間比33億円減少し、71億円となりました。

なお、セグメントの業績につきましては、銀行業の経常収益は前第3四半期連結累計期間比28億円減少し800億円、経常利益は同29億円減少し109億円となりました。また、リース業の経常収益は前第3四半期連結累計期間比6億円減少し210億円、経常利益は同1億円減少し3億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、貸出金は6兆7,182億円と前連結会計年度比2,001億円増加いたしました。預金及び譲渡性預金は8兆8,631億円と前連結会計年度比1,920億円増加いたしました。有価証券は1兆3,202億円と前連結会計年度比551億円増加いたしました。

これらの結果、総資産は10兆542億円と前連結会計年度比2,944億円増加し、負債は9兆6,171億円と同2,784億円増加、純資産は4,370億円と同159億円増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月14日に公表いたしました業績予想から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
現金預け金	1,614,911	1,647,524
コールローン及び買入手形	858	1,898
買入金銭債権	13,572	13,893
商品有価証券	4,321	4,192
有価証券	1,265,106	1,320,254
貸出金	6,518,080	6,718,218
外国為替	9,347	4,153
リース債権及びリース投資資産	51,506	53,353
その他資産	167,298	179,331
有形固定資産	87,115	82,183
無形固定資産	8,579	7,066
退職給付に係る資産	—	54
繰延税金資産	631	574
支払承諾見返	52,241	55,098
貸倒引当金	△33,795	△33,558
資産の部合計	9,759,776	10,054,239
負債の部		
預金	8,596,305	8,598,232
譲渡性預金	74,818	264,930
売現先勘定	—	3,884
債券貸借取引受入担保金	118,320	108,847
借入金	405,955	485,329
外国為替	414	273
その他負債	59,103	63,541
賞与引当金	1,751	412
株式給付引当金	71	102
退職給付に係る負債	409	355
睡眠預金払戻損失引当金	2,278	2,920
ポイント引当金	431	386
特別法上の引当金	19	19
繰延税金負債	24,016	30,658
再評価に係る繰延税金負債	2,576	2,192
支払承諾	52,241	55,098
負債の部合計	9,338,715	9,617,186
純資産の部		
資本金	121,101	121,101
資本剰余金	72,485	74,741
利益剰余金	143,718	147,728
自己株式	△1,260	△2,927
株主資本合計	336,044	340,643
その他有価証券評価差額金	74,151	87,917
土地再評価差額金	5,229	4,405
退職給付に係る調整累計額	△127	△31
その他の包括利益累計額合計	79,253	92,291
新株予約権	106	84
非支配株主持分	5,657	4,034
純資産の部合計	421,061	437,053
負債及び純資産の部合計	9,759,776	10,054,239

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
経常収益	104,471	101,732
資金運用収益	53,878	51,150
(うち貸出金利息)	45,072	43,519
(うち有価証券利息配当金)	8,334	7,164
役務取引等収益	22,113	22,034
その他業務収益	23,402	24,859
その他経常収益	5,076	3,688
経常費用	90,048	90,657
資金調達費用	2,275	1,562
(うち預金利息)	314	275
役務取引等費用	8,836	9,018
その他業務費用	22,471	19,955
営業経費	54,066	53,488
その他経常費用	2,397	6,632
経常利益	14,423	11,074
特別利益	590	1,447
固定資産処分益	6	1,447
負ののれん発生益	550	—
段階取得に係る差益	33	—
特別損失	266	438
固定資産処分損	109	136
減損損失	156	301
税金等調整前四半期純利益	14,747	12,083
法人税、住民税及び事業税	2,135	4,851
法人税等調整額	1,874	△65
法人税等合計	4,009	4,785
四半期純利益	10,737	7,297
非支配株主に帰属する四半期純利益	267	181
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,469	7,115

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	10,737	7,297
その他の包括利益	△17,385	14,309
その他有価証券評価差額金	△17,094	14,214
退職給付に係る調整額	△290	95
四半期包括利益	△6,647	21,606
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△6,574	20,977
非支配株主に係る四半期包括利益	△72	629

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

2020年3月期 第3四半期決算説明資料

1. 損益状況【単体】

- ・コア業務純益は、108億円と前年並みとなりました。コア業務粗利益は、資金利益が前年比17億円減少したことから前年比18億円の減少となりました。
- ・経常利益は、貸倒償却引当費用が前年比7億円増加し、有価証券関係損益が同20億円減少したことから前年比29億円の減少となりました。
- ・四半期純利益は、76億円と前年比22億円の減少となりました。

(単位：百万円)

	2018年度 第3四半期	2019年度 第3四半期	前年比	2019年度通期 (業績予想)
経常収益	82,850	80,024	△2,826	101,000
コア業務粗利益(注1)	63,672	61,858	△1,814	82,200
資金利益	51,935	50,171	△1,764	
役務取引等利益	10,316	9,850	△466	
その他	1,420	1,836	416	
経費(除く臨時処理分)	52,807	51,042	△1,765	68,900
コア業務純益(注2)	10,865	10,815	△50	13,300
除く投資信託解約損益	10,767	10,795	28	
貸倒償却引当費用	△221	551	772	1,000
有価証券関係損益	1,167	△904	△2,071	
国債等債券関係損益	△1,545	1,679	3,224	
株式等関係損益	2,713	△2,583	△5,296	
その他の経常損益	1,645	1,628	△17	
経常利益	13,899	10,987	△2,912	15,000
特別損益	△259	1,009	1,268	
税引前四半期純利益	13,639	11,997	△1,642	
法人税等	3,761	4,366	605	
四半期(当期)純利益	9,878	7,631	△2,247	10,500
実質業務純益	9,319	12,495	3,176	
業務純益	9,319	12,777	3,458	

(注) 1. コア業務粗利益＝資金利益＋役務取引等利益＋(その他業務利益－国債等債券関係損益)

2. コア業務純益＝コア業務粗利益－経費(臨時処理分を除く)

2. 主要勘定等残高（平均残高・期末残高）【単体】

- ・資金量平残は、8兆7,801億円と前年比2,742億円の増加となりました。うち法人預金は前年比990億円、個人預金は同1,875億円増加、地方公共団体・金融預金は同124億円減少となりました。
- ・資金量末残は、8兆8,822億円と前年比2,577億円の増加となりました。
- ・預り資産末残は、2,488億円と前年比255億円の減少となりました。
- ・個人年金保険等は、7,171億円と前年比434億円の増加となりました。

(1) 資金量・預り資産等

(平均残高)

(単位：億円)

	2018/12期	2019/12期	前年比	2019/9期	2019/9期比
資金量	85,059	87,801	2,742	87,758	43
法人預金	23,206	24,197	990	24,160	37
個人預金	55,515	57,391	1,875	57,207	183
地方公共団体・金融預金	6,337	6,213	△124	6,390	△177

(期末残高)

(単位：億円)

	2018/12末	2019/12末	前年比	2019/9末	2019/9末比
資金量	86,245	88,822	2,577	87,141	1,681
預り資産	2,743	2,488	△255	2,569	△80
公共債保護預り	1,248	1,029	△219	1,057	△28
投資信託	1,495	1,459	△36	1,511	△51
合計	88,988	91,311	2,322	89,710	1,600

個人年金保険等	6,736	7,171	434	7,090	80
---------	-------	-------	-----	-------	----

(注) 1. 資金量＝預金＋譲渡性預金

2. 個人年金保険等は、販売累計額を記載しております。

- ・貸出金平残は、事業者、個人および地方公共団体等で増加し、6兆6,259億円と前年比3,548億円の増加となりました。
- ・貸出金末残は、6兆7,780億円と前年比4,128億円の増加となりました。うち中小企業等貸出金は、前年比947億円、北海道内向け貸出金は同1,376億円それぞれ増加となりました。
- ・有価証券末残は、1兆3,195億円と前年比315億円の増加となりました。

(2) 貸出金

(平均残高)

(単位：億円)

	2018/12期	2019/12期	前年比	2019/9期	2019/9期比
貸出金	62,710	66,259	3,548	65,984	274
事業者	26,068	27,058	989	26,844	214
個人	17,774	18,438	664	18,325	112
地方公共団体等	18,867	20,762	1,894	20,814	△52

(注) 地方公共団体等には国及び土地開発公社を含む

(期末残高)

(単位：億円)

	2018/12末	2019/12末	前年比	2019/9末	2019/9末比
中小企業等貸出金	36,580	37,527	947	36,774	753
貸出金	63,651	67,780	4,128	66,202	1,577
北海道内向け貸出金	52,907	54,284	1,376	53,518	765

(3) 有価証券

(期末残高)

(単位：億円)

	2018/12末	2019/12末	前年比	2019/9末	2019/9末比
有価証券	12,880	13,195	315	12,769	426

3. 自己資本比率 (国内基準)

2019年12月末の自己資本比率 (国内基準) については、現在算出中であり、計数が確定次第、別途開示する予定です。

4. 有価証券の評価損益

・有価証券評価損益は、1,225億円と2019年9月末対比97億円の増加となりました。

【単体】

(単位：億円)

	2019/9末			2019/12末			
	評価損益	評価益	評価損	評価損益	2019/9末比	評価益	評価損
その他有価証券	1,128	1,169	40	1,225	97	1,247	21
株式	931	934	2	1,050	118	1,051	1
債券	176	179	3	124	△52	131	7
その他	19	54	35	50	30	64	13

日経平均株価	21,755円	23,656円
新発10年国債利回	△0.215%	△0.025%

5. 金融再生法に基づく開示債権

・金融再生法開示債権は、685億円と前年比60億円の減少となりました。
 ・開示債権比率（部分直接償却後）は、0.78%と前年比0.12ポイント改善いたしました。

【単体】

(単位：億円)

	2018/12末	2019/12末	前年比	2019/9末	2019/9末比
	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	264	254	△9	251
危険債権	375	331	△44	329	1
要管理債権	105	99	△6	95	3
合計	746	685	△60	676	8
部分直接償却後	595	545	△50	537	7

正常債権	64,943	69,093	4,150	67,550	1,543
総与信額	65,689	69,779	4,089	68,226	1,552
部分直接償却後	65,539	69,638	4,099	68,087	1,550

<総与信に占める開示債権の比率>

(単位：%)

開示債権比率	1.13	0.98	△0.15	0.99	△0.01
部分直接償却後	0.90	0.78	△0.12	0.78	0.00

(注) 部分直接償却は未実施ですが、参考として部分直接償却を実施した場合の計数を記載しております。